

介護に携わるすべての方に

Care Topics

2020

2

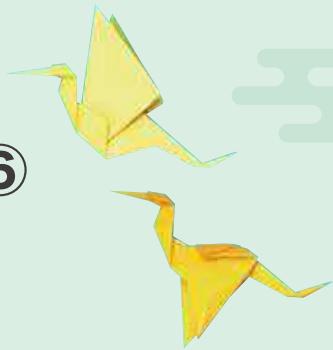
vol.45

|特集

ケアマネジメントの仕事術
～エッセンス版～

たかむろ式会議の進め方⑥

～サービス担当者会議の
小まとめ・大まとめ～



ケアマネジメントの仕事術

vol. 32

～エッセンス版～

たかむろ式会議の進め方⑥ サービス担当者会議の小まとめ・大まとめ

前回は、「盛り上げ方」を学びました。たくさんの発言があるサービス担当者会議（以下：サ担会議）はとても画期的です。しかし脱線すると、時間ばかりが経過して肝心な話し合いができないこともあります。

そこで大切なのはまとめ方。どのようにまとめてよいか、終わりの時点でパニックになることもあります。発言が盛りだくさんだとうれしい悲鳴でしょ。でもあなたの脳内は「戸惑いの悲鳴」が駆けめぐる…。



①いきなりのひらめき発言

一般的に主張（言いたいこと）を最初に述べて話し始めてくるとわかりやすいものです。落ち着いた整理された話し方だと聞き手も安心です。

しかし利用者（家族）の話の多くは、いきなりだつたりします。「…ぞ」ばかりに話したい意欲満々で始まることもあります。衝動的に「ひらめき発言をする人は、心に浮かんだことは話しても、なぜそう考えたのか（根拠）の説明が抜け落ちることがよくあるもの。そんな時はあわてずに「どうしてそう思われたのか、少しお話を聞いていただけますか？」とやさしく問い合わせましょう。



②思いいっぱいの感情的発言

発言で困るのは「思い、気持ち、感情」をあふれて語る利用者（家族）です。利用者なら日々の暮らしの大変さに、家族なら介護の大変さに共感してもらいたい中身が多かったりします。おおげさに言う利用者・家族もいれば、家族や本人を前にしているので控え目（抑え目）に話すこともあります。

進行役のケアマネジャーのあなたは「もう、つらくてとてもやっていけません」の言葉に、いきなり問い合わせをしてはいけません。「おつらいのですね」と共感の言葉でま

ずは寄り添い、「どうの」「つらいのか、どのようにつらいのか、どのよう」に困ったのかを少しお話をいただけですか？」と問い合わせることで話し合いを深めていきます。



③ヨコミチ発言、脱線発言にも意味がある

話し始めた本人がヨコミチに逸れた発言や脱線していることを自覚していないこともあります。認知症が進むとその場で何が話しかわされているかを理解できず、滔々と話し続ける利用者に困ったこともあるでしょう。家族が「ちょっと、やめて下さい」と止め

ようとする」ともあるでしょう。その時、ケアマネジャーが慌てて制止すると利用者（家族）の顔をつぶすことになります。

それらの話の中に利用者の本音やわかつ

てもらいたい気持ちがあります。あまりにも

長くなりそうなら、

「ちょ、ちょっととい

ですか、○○さん。

そのお話はあとでも

う一度お聞かします

ので、今は○○につい

て話をさせていただ

いてよいですか？」と

落ち着いて話を戻し

ましょ。

このような話を交通整理するには、サ担

会議の前に聞き取りをしておく」とおス

スメします。利用者

（家族）は「このタイミングでしか話せない」となれば気持ちが先

行した話になりやすく、話が迷走しがち

です。ですから、1時間ほど前に訪問して、事前に話したい事を聞き取りすること

で利用者（家族）は気持ちの整理がつき、進



行役も「ではそのお話は○○の時にフリますのでお願ひします」と事前に自安をつけることができます。

（例）
「では下肢筋力の低下が原因の生活上の困り事について話したいと思います」

■「小まとめ・大まとめ」で交通整理する

話し合いのまとめが苦手という声もたくさん聞きます。それはいろんな発言がたくさん出でからまとめようとします。

つまり、いきなり大まとめをするのではなく、話し合いを発言数や時間ごとに「小まとめ」するのがポイントです。一人の発言は長くて1分。

たいていは30秒前後です。要するに5つから7つくらいの発言で3分程度です。これで「1つの小まとめ」をします。それが3つ～5つになればそれを「大まとめ」で整理すると効果的です。

サ担会議での発言には「感想、指摘、意見、提案」があります。発言には「それは指摘（感想、提案など）と理解すればよいですか？」とタグ（看板）付けをするとよりまとめやすくなります。

小まとめ・大まとめのポイントは「共通性、方向性、担当・役割・業務・計画化」です。

②「方向性」で小まとめ・大まとめる

方向性とはケアプランの総合的な援助方針や課題設定にかかりります。利用者（家族）の「生活への意向」から思いを汲み取り、「めざす（望む）生活の意向」（例：1年後、〇〇に△△たちと一緒に出かけられるようになる）で大まとめし、それをやりとげるには

「解決すべき課題」（例：1年後、一人で〇〇まで転倒せずに歩けるようになる）を小まとめします。方向性を決めずにいきなり手段（サービス内容）を話し始めると堂々巡りの話し合いになりがちなのが注意しましょう。

①「共通性」で小まとめ・大まとめる

似たような発言なのに、ちょっとニュアンスが違った言い方をする人がいます。その時は

数人の発言で共通している点を小まとめしま

しょう。あるいはプレないようにならから

視点を示して話し合いに共通性を持たせる方

法もあります。



③「短期目標・長期目標」で小まとめする

目標とは「田安」です。「何を」を「いつまで」に「田指すこと・達成すること・取り組むこと」で小まとめします。モニタリングで評価ができるように具体的に表記しましょう。

④「担当・役割・業務」で小まとめする

担当とは「誰が」、役割とは「何を」、業務とは「どのように」です。方向性が決まつたらこられらを具体的に話し合わないと行動には結びつきません。話し合いの順番は「何を、誰が、どのように」でも、「何を、どのように、誰が」となつてもかまいません。

ついで忘れるのが本人に行うこと



ムロさんのまとめ

⑤「計画」を小まとめする

計画化とは「誰が、何を、どのように」を「一日・数週間・数ヶ月」の時間軸で具体化することです。2表をもとに「力月にかかる人数やサービス種別、かかる費用（例：自己負担割合、食費）などは数値化します。一週間のスケジュールは第3表を使い、見える化しましょう。

■「随時調整する」でまとめるのも一つです

いつたん決めたことも利用者（家族）の状況によってプランの変更が先々予測されるとき、決めるときに躊躇する気持ちが湧いてきたりします。

その場合は方向性や手段で「一致できる」部分で合意する、「現場の判断にゆだねる」なども1つのまとめ方です。

また「では3ヶ月は〇〇の内容で行い、変更等があれば随時調整をする」ということでいかがでしょうか？」と合意をもらうという方法もあります。まずはあわてず焦らずにまとめるようになります。事前に結論を決めておくと安心かもしれません。予定調和の話し合いになり、盛り上がりに欠けるので注意しましょう。

その❶

話し合いは小まとめ・大まとめで整理をする

その❷

話し合いは共通性、方向性、担当する役割・業務・計画化で交通整理をする

その❸

随時調整でまとめるのも1つの方法である

執筆

高室成幸（たかむろしげゆき）氏



ケアタウン総合研究所 代表
《HP》<http://caretown.com>

京都市生まれ 日本福祉大学社会福祉学部卒

ケアタウン総合研究所代表。「わかりやすくて元気がでる講師」として全国のケアマネジャー、地域包括支援センター、相談支援専門員、社協職員、施設職員向けの研修では定評がある。著書・監修書多数。近著は「地域ケア会議コーディネートブック」（第一法規）。「本人を動機づける介護予防ケアプラン作成ガイド」（日経研出版）。「ケアマネジャー手帳2020」（中央法規）など



ケアマネさん「元気だして！相談室」

vol. 32

現場で役に立つ「(二)知識」

今月の悩めるケアマネさん

「個性のない予防プランになりがちです。アセスメントをしても4つの領域の課題の設定で考えがなかなかまとめられません。同じような文章表現ばかりになってしまいます。介護予防プランや自立支援を本人が理解していないのも困ります。



愛知県西尾市 K・Mさん 女性
ケアマネ歴8年 社会福祉士

ムロ先生の「お答えします」

介護予防プランのむずかしさは「プラン自体がわかりづらいこと、それと全国共通のアセスメントシートがないことです。私は「介護予防ケアプラン作成ガイド」(日総研



- 出版)でブレ・プランニング手法を提案しています。まずは白紙の予防プランを広げ、「この4つの領域ごとにお話を聞かせて下さい」と伝え、まず基本チェックリストと興味関心シートに記入してもらいます。記入したチェックリストを手元にもらい質問の開始です。
- 「五分以上歩いているか」「いいえ」とあります。お元気な頃はどうらいに行かれていましたか?」と追加質問します。移動の項目から貰物、友人、通院など他の領域の状況が聞き取り、「なぜなのか(原因・背景)」「どうしたいのか(意向・課題)」いつまでにどのように(目標)したいのかをやりとりを通してプランニングします。また行きたい場所、会いたい人などを固有名詞で記載すると「個別性あふれるプラン」の完成です。そのプロセスを通じて「本人に自立支援への理解を深めてもらいましょう。
- ④「読み切る習慣」を身につける**
読書が苦手な人は「読み切ること」ができる、それがストレステになることもあります。眠い時の効果的な読書法です。
- 本を読む習慣づくりもプロへの第一歩
- みなさんには年間1~2冊しか専門書を読まない人を専門職と呼びますか? 相談援助技術や認知症ケア、ケアマネジメントに関する書籍は二〇年前と比較して相当に充実しています。本を読むにはトレーニングが必要です。読書に「貫性をつけるために」「つながり」で読んでみましょう。(1)参考文献・引用文献・関連書で読む。(2)専門領域・テーマで読む。(3)執筆者で読む。(4)推薦・評判・口コミで読む。(5)テーマによって複数冊ジャンルとして揃えて読むだけで読書に関連性が生まれます。
- ②「書き込み」をする→自分ノート化**
ただ読むのではなく「書き込み」をするというのは、自分を本の内容に積極的に関わらせる「身体行為」です。線を引くだけでなく「感想・ひらめき・要約」を書き込むのもよいでしょう。書き込みに抵抗がある人は付箋に書いて貼るのもよいでしょう。
- ③「音読」する→声で脳に知識を刻む**
かつての日本は声に出して読む素読が一般的でした。声に出すと脳は活性化し集中力が増します。眠い時の効果的な読書法です。

福
辺
流

力を引き出す介助

vol.
45

状態別介助⑪ レビー小体認知症と前頭側頭型認知症

先月号に続いて、認知症の分類後編、レビー小体認知症と前頭側頭型認知症についてお話ししたいと思います。

◆分類III

（レビー小体認知症）

1995年に国際的に病型や診断基準が確立し、最近認知度が高まった認知症です。

アルツハイマー型認知症について頻度が高く、脳血管性認知症と並んで日本の認知症の10～20%を占めるとされています。MRIでは大きな変化がないことも多く、医学検査では脳血量やドーパミンに関連したSPECTが選ばれます。

α -シヌクレインという蛋白からなるレビー小

体が、大脳皮質や皮質下の神経細胞内に大量に蓄積するとしてレビー小体認知症、脳幹に蓄積するとパーキンソン病として発症します。

アルツハイマー型認知症に比べると記憶障害は軽度で、反対に注意障害、実行機能障害、視空間認知障害が目立ちます。

「玄関から子供がいつもこっちを見ている」などの幻視や幻覚が先行するのも大きな特徴

の一つで、他の認知症との鑑別に使われます。幻覚は現実味を帯びていて実際に幻覚に対応するので「天井に虫がいっぱいいる」と言つて虫を追い払うような動作をします。

症状としてはパーキンソン症候群と類似するものが多く、自律神経系症状は交感神経系と副交感神経系の両方に表れます。なかでも便秘は高頻度で初発症状として現れ、起立性低血圧や失禁も重要な症状で、転倒、骨折の誘因となります。内臓の痛みといった身体症状を訴える場合もあります。

レム睡眠障害も発症の何年も前から出現することが多いとされています。通常、夢を見てくるレム睡眠時には身体的な動きは抑制されるのですが、レム睡眠行動障害では夢で見たものに対応して大声や奇声を発したり体を大きく動かします。

症状や薬剤の効用の動搖があることもパーキンソン症候群と似ています。時間や日によって

変動し、月単位の長い変動も見られます。薬剤に対しての過敏性も特徴です。

固縮や無動などのパーキンソン症状がでると、前屈みになつたり側方へ傾いたりしますが、振戦はあまり目立たないことが多い、パーキンソン症状がほとんど出ない人もあります。

平均するとアルツハイマー型認知症よりも進行が速く生命予後はよくないとされていますが、個人差が大きく一概には決まりません。



◆分類IV

（前頭側頭型認知症）



前頭葉側頭葉障害の症状と、CTやMRIで前頭葉や側頭葉で限局性的萎縮が見られた、前頭側頭型認知症と診断されます。ピック病型認知症は前頭側頭型認知症に分類されます。

前頭側頭型認知症の症状は、抑制が利かなくなることによる常同行動、行動異常や、自発性

の低下による無気力などです。いわゆる反社会的行動をとることが多いのですが本人には悪いことをしているという意識はあまりありません。あくまで、「わが道を行く」です。

食べるに閑しても行動異常が出現します。異常に甘いものが好きになつておまんじゅうなどがあると1箱ペロリと食べてしまい、スーパーでお菓子が目になるとその場で食べたり持つて帰つたりするので、万引きとして捕まつてしまふこともあります。

同じ時間に同じことをしないと気が済まない時刻表的生活も、前頭側頭型認知症でよく見られます。

前頭側頭型認知症の徘徊は同一の「ースを繰り返し回る」、「徘徊」ではなく「周回」と呼んだほうがよいのかもしれません。アルツハイマー型認知症と異なり空間認知機能は比較的保たれているので迷子にはなりません。周回コースに自分の行動を妨げる物があると排除します。例えばいつも座る椅子に違う人が腰掛けているといきなり暴力をふるつて払いのけて自分が座ろうとします。

元気に1日中動き回り目を離すと家を抜け出してしまい、介護が最も大変なタイプの認知症です。

アルツハイマー型認知症で使われるドネペ

ジル（アリセプト）を投与されると暴力や暴言多動が出現することが多いので注意が必要です。

記憶や習慣的な動作などの能力は保たれているので、周囲が替わりに残されている力を探り、有意義な活動に変えていくと色々な作業活動が可能となります。自ら動こうとするきっかけを作り、残されている能力や常同行動を利用して適切な行動を習慣にしてもらうと、介護側も助かることが多いと思います。



認知症の4つの分類とそれぞれの特徴をお話ししました。

ただし、高齢になつてくると、単独型からいくつかの認知症の複合型に移行していくことが多いといわれます。認知症に限らず、どの障害でも同様ですが、環境を整え一人一人に合わせたケアを探つていくことが何より重要であると思いません。

次号では認知症特有の症候についてお話しします。



監修 福辺節子（ふくべせつこ）氏



理学療法士、医科学修士、新潟医療福祉大学非常勤講師、介護支援専門員、厚勞省老健局参与（介護ロボット担当）、「もう一步踏み出すための介助セミナー」主宰《HP》<http://moippo.org>

22歳の時に事故で左下肢切断。結婚・出産を経て、31歳で理学療法士となる。現在はフリーの理学療法士として、訪問・セミナー・講演会などの活動を続けている。平成21年4月にNHK「ためしてガッテン」に介助の達人として出演。さらにNHKEテレ「ワンポイント介護」では講師としてご出演。著書『福辺流 力のいらない介助術』中央法規出版、『早引き 介護の基本技法ハンドブック』ナツメ社ほか

◎セミナー・講演会の情報は[こちら ► http://moippo.org/program](http://moippo.org/program)

◀最新著書『福辺流 力と意欲を引き出す介助術』（中央法規出版）発売中!!

シニア世代の健康栄養アドバイス

vol.
14

冷えからカラダを守る食事

皆様ごんにちは。新しい年が明けて早くも1ヶ月が経ちました。お元気でお過ごしでしょうか?年末年始のお疲れが出でいませんか?先月からその時々に感じやすいカラダの不調を予防するための栄養や食事のとり方について紹介しています。2回目の今回は、寒い時期にどうしてもおいしく「冷え」対策の食事について考えたいと思います。

◆カラダの冷えとは?

寒い時期における「冷え」は手先足先などの末梢の冷えからくることが多いようです。これは、周りの空気が冷たいことで体温を維持しようと血管が収縮し、末梢の血流が悪くなることによる原因にあげられます。末梢の血流を良くするためににはやはりこまめに指先や足先を動かすことなどが最も良い方法といえますが、運動のことは専門家にお任せして、食事で少しでもよくなる方法を考えると、ビタミンEをとることでよう。ビタミンEは体内的脂質の酸化を防いで細胞膜の老化を抑えます。その結果動脈硬化を予防することにもつながりますが、その手前で毛細血管の動きをよくするといった働きもあるよ



◆ビタミンEとの相乗効果

ビタミンEの働きを弱めないためにも、「ビタミンEと一緒に摂ることでお互いの働きを高めあう「相乗効果」が期待できます。ビタミンEは、皆さんご存知レモン、オレンジ、グレープフルーツなどのかんきつ類やイチゴ、キウイフルーツなどの酸っぱい果物、ほうれん草、ブロッコリー、春菊などの野菜に多く含まれます。旬の時期に多くなりますので、今の時期、みかんや春菊などから美味しくいただきましょう。ただし、これらのビタミンEは熱に弱いので、生で食べることができる果物がおすすめです。さらにビタミンEと同じく古くなるにつれ働きが弱くなるため、できるだけ新鮮なうちに食べるようにしましょう。意外と知られていないのですが、春菊などにもビタミンEが多く含まれ、こちらはでんぶんに守られて存在しているため、熱を加えてもビタミンEが壊れません。とはいっても、切り口から失われていくので、できるだけ細かく切らずに皮ごと丸ごと加熱することをおすすめします。さつまいもの丸ごと焼き芋や、丸ごとじやがバターなどはいかがでしょうか?

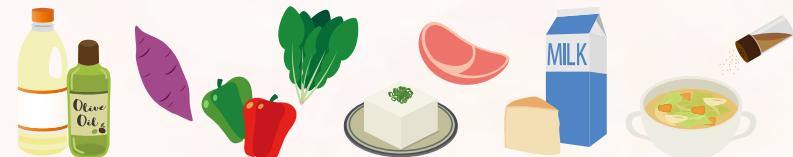
ビタミンEと一緒に摂取することを考えるなら、バターの代わりにオリーブオイルなどの植物性オイルで、じやがバターを作つてみてはいかがでしょうか?じやがバターならぬ、「じやが

オイル」ですが、じゃがいもを皮ごと電子レンジで柔らかくなるまで加熱して、オリーブオイルと軽く塩をふり、アーモンドやくるみなどのナッツ類を細かく碎いてトッピングすると、おしゃれなじゃがいも料理で冷え対策の栄養も摂れますね。



その他にも、体全体の体温を上げて冷えを予防してくれる食べ物として、先月ご紹介した食事誘発性体熱産生を促してくれる、トウガラシやコショウ、ショウガなどの香辛料や、たんぱく質食品があります。大豆にはビタミンEが豊富で、良質のたんぱく質も摂取できます。豆乳で摂取することで、より効率よく栄養素を吸収することができるので、豆乳鍋をおすすめします。じゃがいもやさつまいもを入れてビタミンCを、ショウガや七味や一味で味付けをするとさらに体が温まりそうです。

次回は、すでに始まっている方も多いかも知れませんが、花粉症について考えたいと思います。



血流を良くする	ビタミンE	植物油、胚芽、豆類、種実類
ビタミンEの働きを助ける	ビタミンC	かんきつ類、いも類、ピーマン、ブロッコリー、春菊
食事誘発性体熱産生	たんぱく質	肉、魚、大豆、豆腐、納豆、卵、牛乳、チーズ、ヨーグルト
	香辛料	コショウ、トウガラシ、ショウガ

冷え対策が期待できる食材



執筆 【管理栄養士】坂元 美子(さかもとよしこ)氏

元オリックスブルーウェーブ球団専属管理栄養士として、イチロー選手などの栄養管理を担当し在籍中にチーム日本一を達成。プロ・アマ・世代を問わず多くのスポーツ選手や生活の栄養アドバイス行う。現在は神戸女子大学の准教授として栄養士の育成にも尽力している。

経歴

- 平成 元年 兵庫医科大学第4内科研究室実験助手
- 平成 7年 オリックスブルーウェーブ球団専属管理栄養士
- 平成10年 履正社学園医療・スポーツ専門学校非常勤講師現職
- 平成19年 株式会社アヴィススポーツ栄養指導担当現職
- 平成21年～ 神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科准教授
- 平成25年 特定非営利活動法人 日本スポーツコーチ＆トレーナー協会理事



宅配クック123

石川県金沢市オレンジカフェにて

◆ぬりえ教室を開催しました

宅配クック123では、地域包括支援センターや高齢者サロン様向けに試食会やイベントコンテンツの「提案」を提供を行っております。先日、石川県金沢市の「オレンジカフェあさのがわ」様にてぬりえ教室を開催しました。「ぬりえ」は、完成した絵のイメージしながら色を選んで塗ることで、脳の活性化になる他、リラックス効果があるといわれています。

◆ぬりえの題材は各種ご用意しております

当日は、約30名の方にお集まりいただき、「松本城」のぬりえに挑戦していただきました。完成図を参考にされながら、赤い橋の欄干に色を重ねて塗つておられたり、お堀や空の色にもこだわってお楽しみいただきました。



イベント開催や無料試食会のご案内

宅配クック123では、ケアトピックスをご覧の事業所様に、無料で試食会などを開催させて頂いております。ご要望に応じて管理栄養士も講師として派遣しますので、高齢者向けの食事に関する勉強会など、様々な用途でご活用ください。

無料試食のお問い合わせは
0120-514-123



宅配クック123お客様相談室まで

受付時間／平日9:00～18:00

(土・日・祝、年末年始はお休みいたします)

**LINE@
はじめました。**



お友だち
登録募集



△ お得な情報やイベント情報を届け △

@cook123

お便り募集

ケアマネジャーQ&Aへのお悩み相談や、本誌へのご感想をお待ちしております。

郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、内容を記入頂き、下記まで郵送してください。

◆送付先

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-4-16 東京建物八重洲ビル3階 +OURS内

アルファクリエイト株式会社 ケアトピックス事務局

〈個人情報の取り扱いについて〉

応募者の個人情報は、選考や連絡、及び粗品発送のために使用いたします。また、法令に定める場合を除き、応募者ご本人の承諾なく第三者（業務委託先を除く）に個人情報を開示・提供することはありません。その他の個人情報の取り扱いについては、「(株)シニアライフクリエイト 個人情報保護方針」をご参照ください。

●折り紙について

折り紙は手先を使うのは勿論のこと、完成をイメージしながら頭も使いますので、脳の活性化につながるといわれています。

また、子どものころ折り紙遊びを楽しんだご高齢の方も多いことから、毎月の表紙が会話のきっかけになればと思います。



(協力:日本折紙協会)

●東京おりがみミュージアム(日本折紙協会)のご案内

折り紙作品を鑑賞できる常設展示場、折り紙関連図書を集めた資料室(会員限定)、折り紙教室ができる講習室を併設する施設です。

売店では日本折紙協会が発行する雑誌、書籍のほか、他社出版社の折り紙関連書籍、各種折り紙用紙などを販売しております。現在、講習室では15の講座が開講し、毎月講師による作品指導が実施されています。

詳しくはWEBをご覧ください。 <http://www.origami-noa.jp/>

◆所在地

〒130-0004 東京都墨田区本所1-31-5

電話:03-3625-1161

(電話受付時間／9:30～17:30 ※事務局屋休み: 12:30～13:30)

◆開館時間:9:30～17:30

◆入館料:無料

◆休館日:祝日(土日を除く)

祝日が日曜日と重なった場合の翌月曜日

年末年始(12月30日～1月4日)

※その他、事務局の都合により休業する場合がありますので、事務局までお問い合わせください。

◆アクセス

都営大江戸線 蔵前駅A7出口から徒歩約8分

都営浅草線 浅草駅A2-a出口から徒歩約9分

東京メトロ銀座線 浅草駅4出口から徒歩約10分

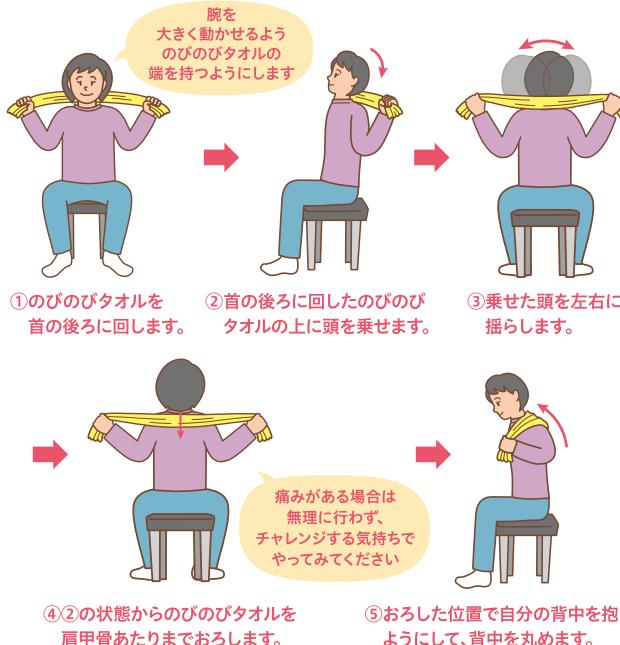


のびのびタオル体操②

首＆肩ほぐし体操

肩と首まわりを動かした後、のびのびタオルを背中まで持ってくることで、肩甲骨まわりの筋肉がほぐされ、背筋が伸びてきます。

モノを持つことで関節の可動域が広がります！伸縮性のある浴用ボディタオルをご用意ください。※日用品販売店や100円ショップなどで購入可能です。



注意ポイント

- 動きが難しい場合は無理をせず、出来る範囲で行ってください。
- 痛みを感じる場合はすぐに中止してください。

〈お問い合わせ〉

vol.
45

監修

善家佳子（ぜんけよしこ）氏

ダンス・体操の指導歴35年以上、高齢者・障がい者・中高年に楽しい体操を教えていた。般社団法人日本アルファヘルスアート協会名譽理事。ハーバード大学（楽しう介護予防）を主宰。

